

食品安全委員会

食品安全委員会は、規制や指導等のリスク管理を行う行政機関（消費者庁等）から独立して、科学的知見に基づきリスク評価などを行う機関です。食品添加物や農薬など食品に意図的に使用される物質や、PFAS など環境中から食品に移行する物質などによる、人への健康影響の評価を行っています。



内容に関する
参考ホームページ

科学的知見に基づき、国民の生活に
欠かせない食の安全を守る

食品添加物のリスク評価業務を担当しています。食品添加物は何かとマイナスなイメージを持たれがちです。そのため、摂取した際のリスク（悪影響の程度×発生確率）を科学的知見に基づいて評価し、それを国民に理解いただくことの重要性を日々痛感しています。

リスク評価を行うにあたり、専門家の先生方と「評価書」と呼ばれる安全性に関する知見等を取りまとめた文書を作り上げていく際には、体内動態試験や細胞・動物での毒性試験、ヒトにおける研究等の資料やデータを読み込んで理解する必要があるため、理系の素養を存分に活かすことができます。できあがった評価書は、リスク管理機関における規制や指導の根拠にもなり得るため、「食の安全を守る」という実感を得ながら働いています。



内閣府
食品安全委員会事務局
評価第一課 評価専門職

永井 智美
NAGAI Satomi